

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

認知症は、決して特別な人だけの問題ではありません。高齢化が進む中、私たち誰もが認知症と関わる可能性があります。「住み慣れた地域で暮らし続けたい」。これは、認知症の人も、そうでない人も、誰もが願うことではないでしょうか。その願いをかなえるためには、一人ひとりが認知症への理解を深め、お互いに支え合える地域づくりを進めていくことが大切です。

毎年9月は「世界アルツハイマー月間」、9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。認知症への理解を深めるため、世界各地でさまざまな取り組みが行われています。日本でも、2024年に施行された認知症基本法により、9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定め、全国で普及啓発活動が行われています。

ライフドアすわでは、認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、認知症カフェ「えがお（毎月第3火曜日）」の開催や認知症への理解を深める活動に取り組んでいます。

今年の認知症月間では、認知症に関するパネル展示のほか、認知症サポーターや中学生のボランティア、地域の皆さん、福祉・医療の専門職などさまざまな方と一緒に、認知症のシンボルカラーであるオレンジ色を取り入れたテーブルポップや吊り飾



りを作成しました。完成したグッズは市内の医療機関や薬局などへ配布し、カウンター等に置いていただき、多くのの方の目に留まり、認知症について考え、理解を深めるきっかけになればと願っています。認知症というと、「何も分からなくなる」「何もできなくなる」といったイメージから、不安や恐れを感じる人も少なくありません。しかし、近年では認知症への考え方も変わってきています。

認知症基本法に基づく「認知症施策推進基本計画」では、「新しい認知症観」が示されました。認知症になっても、一人ひとりに「できること」と「やりたいこと」があり、人とのつながりを大切にしながら、自分らしく暮らし続けることができるという考えです。認知症の人は支えられるだけの存在ではなく、これまで培ってきた経験や知識を生かしながら、地域とともに暮らす大切な

104

諏訪市地域医療・介護連携推進センター
ライフドアすわ 認知症地域支援推進員

お ざわ か よ
小澤 香世

誰もが安心して暮らせる
地域を目指して



「啓発グッズ みんなで作りました」

【パネル展示】

- 湯小路いきいき元気館 9月14～25日
 - 諏訪市役所1階ロビー 9月25日～10月9日
- 展示会場では、「安心して認知症になれる地域ってどんな地域？」をテーマに、皆さんからのメッセージを募集しています。ぜひ皆さんの思いをお寄せください。

【認知症予防・啓発講演会】

11月14日（土）午後1時30分から
講師 詩人・藤川幸之助氏
演題 「支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれたこと～」

一人です。私たちがみんなにできることは、決して特別なことではありません。認知症について正しく知ること、相手の気持ちに耳を傾けること、困っている人にさりげなく声をかけること。その一つひとつの行動が、誰もが安心して暮らせる地域、そして「安心して認知症になれる地域」につながります。

この認知症月間をきっかけに、「安心して認知症になれる地域」とはどのような地域なのか、ぜひ一緒に考えてみませんか。一人ひとりの理解と思いやりが、認知症になっても希望を持ち、自分らしく暮らし続けられる地域につながっていきます。

次回は9月13日掲載予定